

【活動事例の紹介】

教室名

成田小放課後子供教室

取組内容

(1) 実施内容

【ハロウィンウォーク】 10月22日(土)

- 仮装した子どもたちが通学路にある「子ども110番の家」を巡ってお菓子をもらい、学校に戻った後は、キャンプファイヤーや打ち上げ花火など、みんなで楽しい時間を過ごした。



(2) 事前準備

- 学校とおやじの会で連携を取り、安全と感染防止に配慮した活動になるよう準備を進めた。道具の準備については、おやじの会が中心となり、スケジュールの調整や児童への連絡は学校が行った。
- 来年度統合する星宮小の子どもたちにも、おやじの会を通して参加を呼びかけた。
- 子どもたちの参加については、あらかじめ参加申し込みを行い、人数の把握をした。



(3) 当日の様子

- 三年目の取り組みであり、昨年度よりも参加人数が増えた。運営も速やかに行うことができた。
- 暖かく穏やかな日だったので、和やかに地区を巡ることができた。
- キャンプファイヤーは、教員が中心となって、ジンギスカンを踊った。
- 花火は、火災に気をつけながら、打ち上げ花火をした。多くの歓声が上がった。
- 子供たちが自由に仮装をし、地域の方と触れ合うことで親睦も深まり、明るい笑顔が多く見られた。



工夫した点・ポイント

- 新型コロナウイルス感染防止の対策を念頭に置いて準備を進めた。参加前の体調確認や当日の検温、消毒等を行い、マスクをした仮装で密にならないように呼びかけた。
- 事前参加申し込みで受付を行ったことで、滞りなく進めることができた。
- 交通量の多い場所や横断歩道に教員やおやじの会の役員を配置し、安全に配慮した。
- 仮装行列では教員や保護者も参加して、安全に「子ども110番の家」を巡ることができた。

成果・今後の展望

- おやじの会により、学校・保護者・地域で連携を深め、「子ども110番の家」を巡ることで、子供が地域と関わりをもつとともに防災・防犯の意識を高めた。次年度以降も地域と連携した取り組みを継続して行っていきたい。